

【3つの柱】

【重点的な取り組み】

《人材育成》

ミクロ
主体性の尊重

- ・ 自己決定の原理と意思決定支援について学ぶ機会の提供(研修企画運営委員会)
- ・ 専門職として主体的に「自己教育」できる人材の育成(構成員の「さくらセット」利用率50%)(認定制度推進委員会)
- ・ 将来ビジョンについて、すべての構成員の理解と実践の促進(都道府県支部、全国大会、機関誌、事務局等)

メゾ
多様性の尊重

- ・ 多様性の尊重について学ぶ機会の提供(研修企画運営委員会)
- ・ 各ブロックで認定SVRによるGSVを実施(認定SVR養成委員会)
- ・ ブロック等における養成校と都道府県協会等との連携教育の推進(都道府県支部、ブロック会議、理事会)

マクロ
包摂性の追求

- ・ 共生社会実現に向けたソーシャルアクションに取り組む人材の育成(研修企画運営委員会、課題別研修、全国大会等)
- ・ 新認定精神保健福祉士制度の定着(認定制度推進委員会)
- ・ eラーニング制度の構築(研修企画運営委員会、事務局)

《組織強化》

ミクロ
主体性の尊重

- ・ 現業精神保健福祉士6割の入会(1.5万人)(組織強化委員会)
- ・ 全国組織としての組織体制の在り方の検討(組織強化委員会)
- ・ 業務指針の活用促進(都道府県支部)
- ・ 倫理綱領改訂の検討(「精神保健福祉士の倫理綱領」改訂検討委員会)

メゾ
多様性の尊重

- ・ 代議員制度の構成員への浸透と代議員機能の有効化の促進(組織強化委員会)
- ・ メディア機能の理解を深め、有益な活用の推進(メディア連携委員会)
- ・ 都道府県支部・ブロック単位での災害支援体制、減災意識に対する普及啓発(災害支援・復興支援委員会)

マクロ
包摂性の追求

- ・ 精神保健福祉士の資格取得者増加策の強化(理事会、事務局)
- ・ 構成員が情報や意見交換のできるプラットフォーム環境を検討(事務局)
- ・ 全国組織としての当事者、家族、他団体等との関係の発展、協働の推進(理事会)

《政策提言》

ミクロ
主体性の尊重

- ・ エビデンスに基づいた各制度・政策等の改定・改正への要望書等の提出(理事会、委員長・リーダー)
- ・ 関係省庁、関係団体とのつながりの強化(理事会、事務局等)
- ・ 自殺予防対策、子ども家庭支援、依存症対策、貧困、災害支援等に対する適切な支援につながる仕組み作り(理事会、委員会・分野別プロジェクト)

メゾ
多様性の尊重

- ・ 非自発的入院の在り方の是正・改正に向けた調査研究(権利擁護部)
- ・ 都道府県支部・ブロック活動における好事例の情報収集・発信、関係組織や地域への啓発の実施(理事会、ブロック会議)
- ・ 全世代に対する福祉教育の導入(理事会等)

マクロ
包摂性の追求

- ・ 精神保健福祉士のあるべき姿に向けた養成カリキュラムに関する調査研究(特別委員会)
- ・ 精神科医療における人員配置基準を一般医療に近づける提言(理事会、権利擁護部)
- ・ 精神障害者の社会的復権の実現に向けた精神保健福祉法改正への提言(理事会、委員会)